

全国統一小学生テスト 対策授業

国3年生
語

1 物語文の読み方

◆ 場面を読みとろう

① 場面とは

童話や物語の中で、時間や場所、できごとなどによってわけられる一つのまとまりを「場面」といいます。童話や物語は、いくつかの場面からできています。どんな場面かをつかんでいくことが、話のすじや登場人物の気持ちを理解する大きな手助けとなります。

② 場面をつかむには

・「時（いつ）」を読みとろう

時間や季節などがわかる表現をみつけましょう。

…きのう・十年前・さくらの花がさき（春）など

・「場所（どこ）」を読みとろう

どんな場所なのかわかる表現をみつけましょう。

…東京に着くと・教室では・波の音が聞こえてきた（海の近く）など

・「登場人物（だれが）」を読みとろう

人の名前や人との関係、名前のついていない人もみつけましょう
…まさきは・いちばんなかのいい友だち・五オくらいのこどもなど

・「でき」と（どうした）を読みとろう

登場人物の行動に注意しましょう。「何がどうなったのか」を読みとることは、とても大切なことです。

◆ 気持ちを読みとろう

① 気持ちが書かれていることばを見つけよう

「れい」 小さな女の子がひとりでなっています。わたし達は、心配になつて、車をおりました。

わたしたちは、「心配な気持ち」になつています。

では、なぜ「心配な気持ち」になつたのでしょうか。

それは、「ひとりでなっている小さな女の子を見かけたから」です。

このように、人が、ある気持ちになるのには、何か理由があります。気持ちを読みとるときは、かららず「なぜそういう気持ちになつたのか」を考え

ましょう。

気持ちをあらわすことばには、「うれしい」「悲しい」のように、気持ちをそのままあらわしたことばと、「わくわくする」「気にかかる」のように、どうな気持ちをあらわすのかを知らないと、気持ちがわからないことばがあります。

「わくわくする」は「楽しいことを期待する気持ち」、「気にかかる」は「心配する気持ち」をあらわすことばです。気持ちを読みとるためには、このようなことばの意味を、たくさんおぼえることとも大切です。

② 表情やようすが書かれている部分を見つけよう

「**れい**」
テストの結果がわるかつたので、家の近くまでくると、ゆりこの足は重くなりました。

「足が重くなる」というのは、歩くようすをあらわしていますが、足が進まなくなるようすから、「家に帰りたくない」という気持ちが読みとれます。ほかにも、「顔が赤くなる」のようなことばがあります。「顔が赤くなる」からは「はずかしい気持ち」が読みとれますね。

③ 動作や会話が書かれている部分を見つけよう

「**れい**」
よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出しています。それを見て、なぎさはかけになりました。

「かけになりました」という行動だけでは、気持ちはわかりません。けれども、「よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出している」というようすがわかつていれば、「かけになりました」という行動から「妹を助けなければ」というなぎさの気持ちがわかります。

◆ 登場人物の性格を読みとろう

① 人物の性格とは

人物の気持ちは、いろいろなできごとにによってへんかしますが、人物の性格は、作品を通してかわることはありません。

童話や物語では、登場人物、とくに主人公の性格が、作品でいちばんたえたいことをあらわしていることも多いので、性格を読みとることはとても大切です。

② 性格を読みとるには

- ・性格をそのままのべていることばを見つけよう

ぼく、やすみ時間に、校庭の鉄ぼうで、さかあがりの練習をしていたんだ。なにしろ、クラスの男の子は、もう、半分いじょうできるから、ぼく、負けちゃたいへんだとおもって、むちゅうで、練習してたのさ。

そのとき、鉄ぼうのそばに、五年の女の子が、四、五人かたまって、べちゃくちゃ、しゃべっていたんだけど、そのなかのひとりが、こういっているのがきこえたんだ。

「かわいいじやない、あの子。あんな子が、弟だつたらいいわね。」
すると、だれかが、ア　あいづちをうつて、
「ちよつと、○○○○みたいね。」
なんて、いうんだ。

○○○○つていうところ、よくきこえなかつたけど、たぶん、テレビドラマにてくる子どもの名まえだとおもうんだ。

ぼく、鉄ぼうにつかまりながら、おもわず、イ　赤くなつちまつた。だつて、そのとき、男の子は、ぼくしかいなかつたから、ぼくのこと

次の文章をよく読んで、後の問い合わせに答えなさい。

2

文章問題にチャレンジ！

- ・顔かたちや身分などについての表現を見つけよう
- ・年れいや身分などについての表現を見つけよう
- ・動作や会話からその人の性格をとらえよう

新しいランドセルをしょって（一年生）
指には大きなダイヤモンド（お金持ち）など

川でおぼれている人をみつけると、すぐに川へととびこんだ（勇気がある）
「荷物を持ちましょうか」と声をかけた（親切）など

やさしい人・明るい子　など

をいったのにきまつて いるもの。

ぼく、とつても、はずかしかつたけど、でも、わるい気持ちはしなかつたな。だつて、へ□ウ▽なんていわれるよりも、へ□エ▽つていわれるほうが、そりや、だれだつて、いいものね。

それから、まもなく、チャイムがなつたので、ぼく、げんきよく、教室にかけていつたんだ。

そうしたら、その時間は、国語の書き取りのテストがあつたんだけど、それがすらすらできちやつて、満点まちがいなし、つていうすごい成績なんだ。

それで、オぼく、その日、上きげんで、家にかえってきたのさ。ランドセルを家において、原田くんの家にあそびにいこうとしたら、ママ、

「ずいぶん毛がのびてるわよ。理はつ店にいつてらっしゃい。」つて、いうんだ。

いつもなら、こんなとき、

「なに、へいき、へいき。」

そういつて、かまわずにあそびにいつちやうんだけど、その日のぼく、ちょっとかんがえてから、

「力うん。そうするかな。」

すなおに、そこたえちまつたんだ。

五年生の女の子に、「かわいい子ね」つて、いわれたことが、まだ、頭にこびりついていて、それで、じぶんを、もつと、もつと、かわいい子にしたくて、理はつ店にいく気になつたんだとおもうよ。それから、ぼく、ママにいつたんだ。

「服をきかえて、いこうつと。」

ママ、ぼくが、すなおに、理はつ店にいくといつたので、びつくりしたらしかつたけど、そのぼくが、また、そんなことをいいだしたので、なおさら、おどろいたようだつた。

「あら、理はつ店にいくのに、おめかしていくの？」

「だつて、この服、みつともないんだもん。」

「キまあ……」

ママは、くすくすわらつたけど、なにもいわなかつた。

そして、ふわふわした黄色いシャツと、青いズボンをだしててくれた。

この黄色いシャツ、ポケットのところに、ヨットのししゅうがしてあつて、ぼくのお気にいりのシャツなんだ。

「じゃあ、いつてきます。」

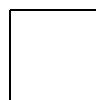
ぼくは、服をきかえてでていこうとしたけど、クだいじなーとをわ
すれていたので、あわてて、ママにいつた。

「**ケ**きょうの漢字のテスト、**百点**だつたよ。」

(大石真 「ミス3年2組のたんじょう会」より)

(1) —線ア 「あいづちをうつて」は、どういう意味ですか。最もふさわし
いものを次から一つ選びなさい。

- ① おかしそうに手をたたいて
- ② あきれたようにかたをすくめて
- ③ ふしぎそうに首をかしげて
- ④ さんせいするよううなずいて



ヒント

「ちよつと、○○○○みたいね」(10行め)といつた子は、どんなよ
うすでこのことばをいつたのか、考えてみましょう。

(2) —線イ 「赤くなつちまつた」とあります。が、「ぼく」が赤くなつたの
はどうですか。最もふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ① 五年の女の子に弟にしたいといわれ、ばかにされたようで、くやしか
つたから。
- ② 五年の女の子に弟にしたいといわれ、おどろいて少しこわくなつたか
ら。
- ③ 五年の女の子にじぶんが「かわいいじゃない」といわれ、いじめられ
つたから。
- ④ 五年の女の子にじぶんが「かわいいじゃない」といわれ、いじめられ
るのかと思ったから。



ヒント

—線のすぐ後に、「赤くなつちまつた」理由が書かれていることに
注目しましょう。

(3)

□ ウ・□ にあてはまることばの組み合わせはどれですか。最もふ
さわしいものを次から一つ選びなさい。

□ ウ・□

さわしいものを次から一つ選びなさい。

④ ③ ② ①

ウ ウ ウ ウ
かわいい子
かっこいい子
かわいい子

エ エ エ
へんな子
おもしろい子
かっこいい子

ウとエには、意味が対になることばが入ります。また、エには、「ぼく」がじつさいにいわれたことばが入ることから考えましょう。

(4) — 線才 「ぼく、その日、上きげんで、家にかえってきた」とあります
が、どうしてですか。ふさわしいものを次から二つ選びなさい。

① ② ③ ④ ⑤ ① ② ③ ④ ⑤
はすかしくて早く女の子たちの前からにげたかったから。
さかあがりがうまくできるようになつてうれしかつたから。
女の子に「かわいい」とほめられて気分がよかつたから。
国語のテストが満点と思えるくらい、よくできたから。
家に帰つたら原田くんとあそぶやくそくをしていたから。

ヒント

「その日」にあつたできごとは、どんなことだつたのでしょうか。前の部分をよく読んで考えましょう。

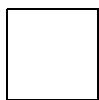
(5)

——線力 「うん。そうするかな」とこたえたとき、「ぼく」がかんがえていたこととしてふさわしいものを次から二つ選びなさい。

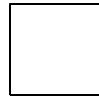
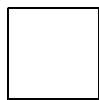
① ② ③ ④ ⑤ ① ② ③ ④ ⑤
理はつ店にいつたら、原田くんの家にはいけなくなつてしまふこと。
理はつ店には黄色いシャツと青いズボンでいこうということ。
やすみ時間のあとにあつた漢字のテストが、すらすらできたこと。
理はつ店で、もつと、じぶんを「かわいい子」にしてもらうこと。
やすみ時間に「かわいい」と五年の女の子にほめられたこと。

ヒント

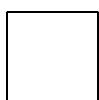
「ぼく」が理はつ店にいく気になつた理由が書かれている36~38行めをよく読んで答えましょう。



•



•



(6) 線キ 「まあ……」といったときの「ママ」の気持ちについてせつ明した次の文の **あ**・**い** にあてはまることばとして最もふさわしいものを、あとの一～四からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- いつもは理はつ店に **あ** 「ぼく」が、きょうはすなおにいくとい、そのうえ **い** というのでおどろいている。

あ

- ① すすんでいく
② いきたがらない
③ ひとりではいけない
④ あそびにいく

い

- ① 女の子に「かわいい」とほめられた
② じぶんをもつとかわいい子にしたい
③ きょうの漢字のテストで百点をとった
④ わざわざ服をきかえて理はつ店にいく

あ

い

(7) 線ク 「だいじなこと」とはどんなことですか。最もふさわしいものを次から一つ選びなさい。

① きょう漢字のテストがあつたということ。
漢字のテストがよくできたということ。
でかける前に「いってきます」ということ。
女の子に「かわいい」とほめられたこと。

ヒント
「だいじなこと」を思い出した「ぼく」が、その次にとつた行動に注目
しましょう。

ヒント
「まあ……」とは、「ママ」のおどろきの気持ちをあらわしたことばです。ママがおどろいた一つめの理由は、「理はつ店にいってらっしゃい」(28行め)といったとき、「ぼく」がいつもどちがう返事をしたこと。そして、もう一つの理由は、「ぼく」が「服をきかえて、いこう」と(40行め)といったことです。

□

3年生 国語-7

(8) — 線ヶ 「きょうの漢字のテスト、百点だつたよ」の部分を声にだして読むときは、どのように読むのがよいですか。最もふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ① ゆっくりとくやしそうに読む。
- ② 早口でらんぼうに読む。
- ③ 大きな声でうれしそうに読む。
- ④ 小さな声でささやくように読む。

ヒント

「ぼく」が、このことばをいつている様子を思いうかべてみましょう。「ぼく」とって「漢字のテストが百点だつた」ということは、どんなことだつたのでしょうか。

(9)

この文章を時のうつり変わりに注目して大きく二つに分けるとすると、後半はどこから始まりますか。次から一つ選びなさい。

- ① 20行めから
- ② 26行めから
- ③ 36行めから
- ④ 39行めから



ヒント

この文章は、「ぼく」が学校にいる場面から始まり、前半では「学校でのできごと」がえがかれていますが、どちらで時がうつり変わり、後半では「家にかえつてからのできごと」がえがかれています。

(10)

「ぼく」が、理はつ店にいくまでにいどうした場所を、じゅん番にならべるどどうなりますか。次の1 2 3にあてはまることばをじゅん番にならべたものをあととの①～⑥から一つ選びなさい。

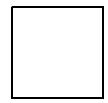
1

2

3

理はつ店

- ① 校庭・教室・原田くんの家
- ③ 校庭・自分の家・原田くんの家
- ⑤ 自分の家・校庭・原田くんの家
- ⑥ ④ ② 教室・教室・自分の家
- ④ 教室・校庭・自分の家
- ② 自分の家・校庭・教室



ヒント

物語文を読むときは、時間と場所に注目して、場面を思いうかべながら読むようにしましょう。

⑩ ワラヤマハナタ ② カア
(ヰ) ⑨ ⑥ ヒニチシキイ
ル ⑧ ⑦ フ ⑤ ④ ス ① ウ
(ヱ) レ メヘネテセケエ
ヲロヨモホノト ③ コオ

◆ 五十音図

「五十音図」について、後の問い合わせに答えなさい。

③ ことばの問題にチャレンジ！

3

ヒント

「ぼく」が「げんきよく、教室にかけていった」（20・21行め）のも、「理はつ店にいく気になった」（38行め）のも、女の子に「かわいい」といわれてうれしかったことがきっかけでしたね。



(11) この文章で、作者がえがきたかったのは、どんなことですか。最もふさわしいものを次から一つ選びなさい。

① 「かわいい」といって「ぼく」をからかう女の子たちのようす。
② かわいい子になるために毎日どりょくしている「ぼく」のようす。
③ 漢字のテストで百点をとつて上きげんになった「ぼく」のようす。
④ 女の子に「かわいい」といわれてとくいになつた「ぼく」のようす。
⑤ おめかしをする「ぼく」をほほえましく見まもる「ママ」のようす。

(1) 五十音図の①～⑩にあてはまる文字を、カタカナで書きなさい。（とめる・はねる・はらうなどにも注意し、正しい形で書くようにしましょう。）

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩

(2) 「イ」「フ」「ユ」「レ」「ロ」をひらがなに直しなさい。

イ フ ユ レ ロ

(3) 次のカタカナの筆順を、例にならって、一画ずつふやしていくかたちで答えなさい。

例 チ
一 ↓ 二
二 ↓ 千

モ
一 ↓ 二
二 ↓ 三
三 ↓ 四

2 ヨ

一 ↓ 二
二 ↓ 三
三 ↓ 四

モ

モ
一 ↓ 二
二 ↓ 三
三 ↓ 四

◆ 漢字の音と訓

漢字の読み方には、音読みと訓読みの二通りがあります。

① 音読み：その漢字の中国式をまねた読み方。

※ 漢字の中には、音読みしかないものがあります。

例 医（イ） 央（オウ） 界（カイ）など

② 訓読み：その漢字のもつてている意味を日本の言葉に当てはめた読み方。

※ 漢字の中には、訓読みだけのものがありますが、小学校で習う漢字の中には六字しかありません。

例 皿（さら） 畑（はたけ） 箱（はこ）など

③ 音読みと訓読みの見分け方

・音読み：ふつう、発音を聞いただけでは意味のわかりにくい読み方。
・訓読み：ふつう、発音を聞いただけで意味のわかる読み方。

例 村（そん） 音読み

例 村
むら
↓ 訓読み

チャレンジ問題①

次の――線(1)～(5)の漢字は、音読み・訓読みのどちらで読むのがふさわしいですか。音読みなら①を、訓読みなら②をマークしなさい。

(1) 近所に住むおじいちゃんの家に遊びに行⁽²⁾った。⁽³⁾朝とれたばかりの山菜を⁽⁴⁾天⁽⁵⁾ぶらにして、麦の入ったごはんにオクラと長いもをかけて昼食にした。

解答らん

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②

◆ 主語と述語

「。」から「。」のひとまとまりを「文」といいます。文を意味の上からも発音の上からもおかしくないよう、できるだけ短く区切つたときのひと区切りを「文節」といいます。「文節」を見わけるには、「ネ」「サ」「ヨ」などをはきみこんでみるといいでしょう。

例 バラがネ^{うつく}くネ^{うつく}さいた。

主語と述語は、文の骨格^{こっかく}を作る大切なものです。

① 主語：「何が(は)」「だれが(は)」にあたる言葉を「主語」といいます。主語は、原則として一文節です。

「わたしは」「夕日が」「弟も」「雨まで」など

② 述語：「どうする」「どんなだ」「何だ」にあたる言葉を「述語」といいます。

述語は、原則として文末の一文節です。(言葉の順序^{じゅんじょ}が入れかわっている場合もあるので、そういうときは文末にはきません。)

「広い」「四年生だ」など

※ 主語・述語ともに、省略^{しょりやく}される場合もあります。

「(あなたは)だれにたのまれたの?」←主語の省略
「あつ、UFO^{ユーフォー}が(飛んで^といる)。」←述語の省略

③ 主語と述語の見つけ方

例 まつかなバラが 美しく さいた。^{うつく}

—— まず、文末の述語を見つけます。……「やいた」

3 次に「何か」といったのかと考え、前にもとてさかします。
2 さいたのは「バラ」ですから、「バラが」の文節が主語です。

チャレンジ問題②

次の(1)~(3)の文について、主語と述語をそれぞれ選んで、番号をマークしなさい。

(3) (2) (1)

① ① ① ① となりに ② すわっている ③ 人は ④ わたしの
① ① 太陽の ② 光線が ③ きらきらと ④ まぶしい。
とても 速いぞ、 ③ あの ④ 電車は。

⑤ 祖父です。

解答らん

(3) 述語	(3) 主語	(2) 述語	(2) 主語	(1) 述語	(1) 主語
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④